

# かみひものカゴ

横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター



「かみひも」とは、梱包するひもとしてよく使われています。特徴は細いひもが12本合わさって作られており、きれいに裂いて使えます。また、水がのりの代わりにになります。

この特徴を活かして工作すると、いろいろな形ができます。ここでは、素敵なインテリアになるカゴ作りを紹介します。

<対象年齢> 小学校中学年から

<所要時間> 約2時間

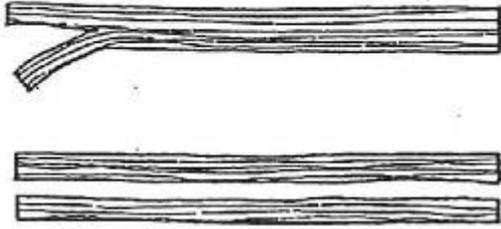
<準備するもの>

かみひも・細ひも・はさみ・セロテープ・コップ（型取り用）

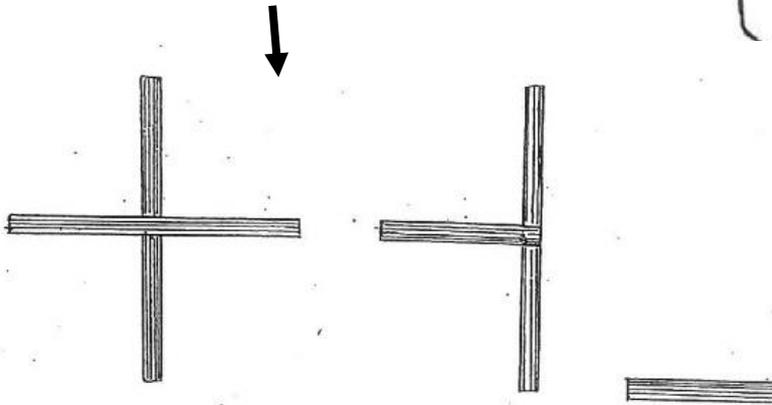
<注意点>

- ◎ 骨組みになるひもの中心は、ずれないようにしっかりボンドか水で止める。
- ◎ 編んでいるひもが重ならないように、きれいにずらして編んでいく。
- ◎ 型になるコップに沿って、ゆるまないように編んでいく。

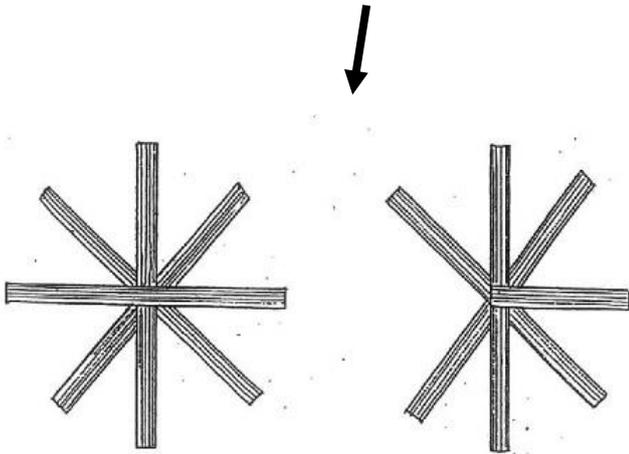
# 作り方



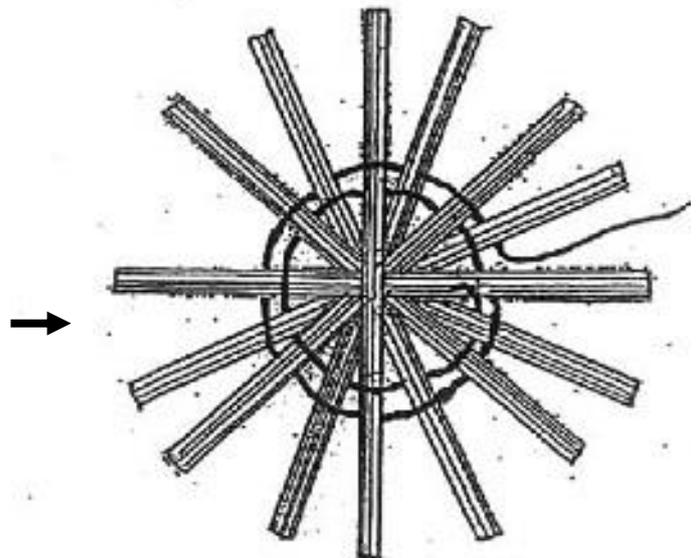
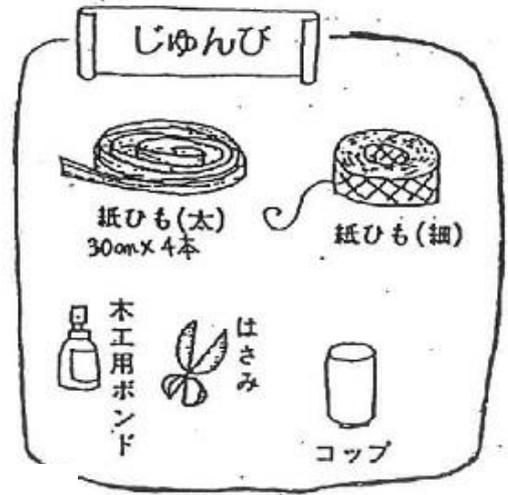
① 4本のかみひもを、縦に半分にさく。



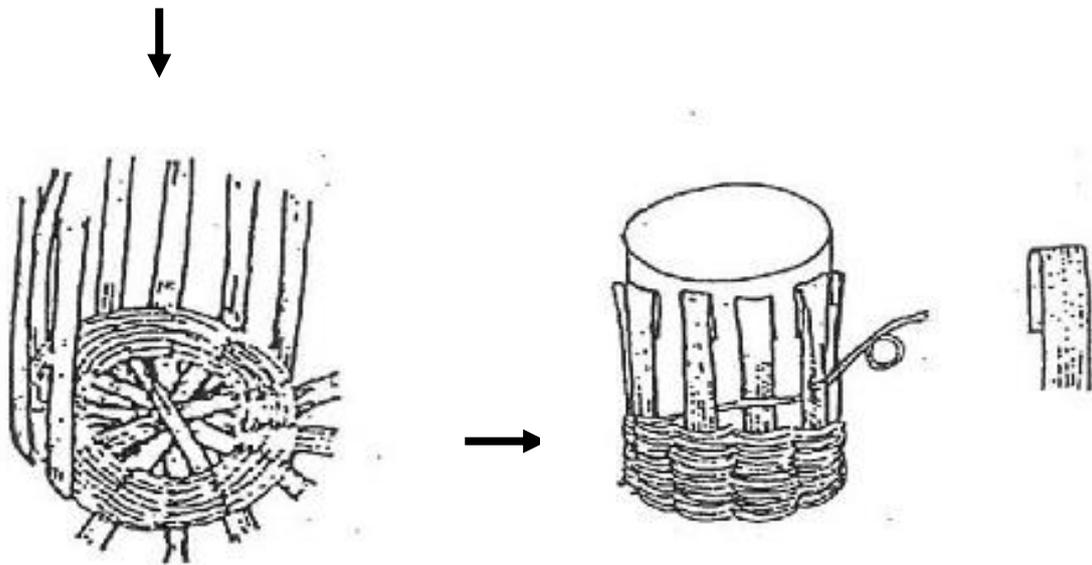
② 十字に重ねて中心をボンドで止める。  
ただし1本分は半分に切り、トの字型を作る。



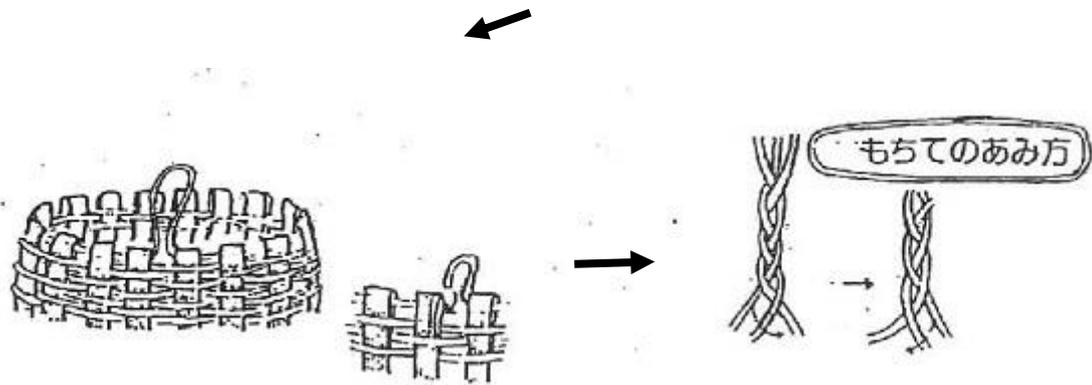
③ 十字を2セットずつ合わせて止め、  
さらに1つにまとめて止める。



④ 4~5周して底の部分が出来たらコップを入れ、  
コップに沿ってかみひもを上折り曲げ編んでいく。



⑤ 終わりに近づいたらかみひもの先を内側に曲げ、その上から編む。



⑥ 最後は、細いひもをかみひもの輪の中に通す。

⑦ 持ち手を三つ編みに編んでつければ

できあがり！

